



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 NCS&A株式会社 上場取引所 東
コード番号 9709 URL https://ncsa.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 隆博
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員常務 経営戦略室長 (氏名) 小林 裕明 (TEL) (06)6443-1991
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	13,722	△4.4	1,225	12.0	1,271	12.8	826	△2.0
2023年3月期第3四半期	14,361	△1.6	1,094	25.0	1,127	21.3	843	33.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 944百万円(7.2%) 2023年3月期第3四半期 881百万円(19.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	51.43	—
2023年3月期第3四半期	51.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	17,770	11,143	62.7
2023年3月期	18,591	10,634	57.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 11,143百万円 2023年3月期 10,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	0.6	1,560	1.2	1,620	0.2	1,100	△13.6	68.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	18,000,000株	2023年3月期	18,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,907,345株	2023年3月期	1,929,669株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	16,074,414株	2023年3月期3Q	16,333,355株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたことを受け、経済活動が一段と正常化に向かい、雇用・所得環境が改善する中で緩やかな回復がみられる一方、原材料価格の高止まり、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、コロナ禍を契機としたIT活用の一時的な需要の急増は収まったものの、デジタル活用が社会に定着化したことや労働力不足を背景とした業務効率化に向けたIT活用の重要性の高まりにより、市場環境は一段と復調しております。また、経済産業省が警鐘を鳴らした「2025年の崖」を背景に、古い基幹業務システムを刷新する動きが活性化しております。

このような環境のもと、当社グループは収益性の改善を背景に、「世の中から必要とされる会社」に向け引き続き積極的な投資による主力ソリューションの強化に取り組んでおります。

企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）推進に寄与するサービスとして当社が展開しているマイグレーションサービス及び可視化サービスにおいて、2023年2月にリリースしたシステム資産を手軽に分析できるWebサービス「DX支援サービス」に続き、2023年6月に、IBMi（AS/400）ユーザーを対象に、お客様の状況や将来の展望に合わせたマイグレーションを実現する「Airs RPG to Java」をリリースしました。更に、2023年9月にはホテルレストラン等のオーダー業務をサポートするオーダーエントリーシステム「E.M.O（エモ）」の販売を開始、2023年10月には家賃債務保証基幹システム「Guras（グラス）」に、より精緻で迅速な審査業務を実現するための「JICC接続サービス」をオプションとしてリリースするなど、様々な業界に向けDX案件の積極的な取り組みを行っております。また、研究開発を通して新しい事業の芽を創出する活動として2020年度下期から実施している「社内スタートアップ制度」の中で、組織内のITインフラ（セキュリティ・ハードウェア・ネットワーク・サービスなど）の稼働状況を一括監視する総合情報表示基盤の研究開発を進めており、本年度中に「ScopNeo（スコープネオ）」としてリリースする予定です。従業員に対しては「社員が生き生きと働ける会社」に向けて働き方改革を継続しており、2023年10月よりフェムテックサービスの導入を開始いたしました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は、機器販売において前年同四半期は部品不足の解消により一時的に売上高が増加しましたが、商品出荷時期の偏りが正常化したことなどにより今年度は前年同四半期に比べ6億38百万円減収の137億22百万円となりました。利益面につきましては、利益率の高い自社製品によるソリューションへの注力を続けることにより営業利益は前年同四半期に比べ1億31百万円増加の12億25百万円、経常利益は前年同四半期に比べ1億43百万円増加の12億71百万円となりました。また、繰越欠損金解消による法人税等調整額の増加により親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ16百万円減少の8億26百万円となりました。

当社グループは、ITサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの経営成績の記載を省略しております。なお、売上分類別の概況は次のとおりです。

< 自社製品によるソリューション >

自社製品によるソリューションにつきましては、前期に引き続きマイグレーションサービスの外資系保険会社向け大型案件やアライアンス先との協業案件が順調に進捗、情報システム可視化ソリューション「REVERSE PLANET（リバースプラネット）」、個人信用情報接続サービス「Ccms（シーシーエムエス）」などの売上高が増加いたしました。しかし前期を超える大型案件の獲得には至らず、その結果、自社製品によるソリューションの売上高は前年同四半期に比べ84百万円減収の32億88百万円となりました。

<システムインテグレーション>

システムの設計・開発から導入後の運用・保守までをワンストップで提供するシステムインテグレーションサービスにつきましては、中堅・中小マーケットの受注環境の改善により、ホテル業向けシステム開発・機器販売や、生産管理システム「Factory ONE 電脳工場」の導入・カスタマイズを含むシステム開発案件などが復調してまいりました。一方で、インボイス制度に向けた対応など需要を大きく拡大する要素がひと段落を迎えたことで、システムインテグレーションの売上高は前年同四半期に比べ2億31百万円減収の60億84百万円となりました。

<機器・パッケージ>

コンピュータ機器及び周辺機器、パッケージソフトウェア等の売上のうち、他の開発・サービスを伴わない機器・パッケージ単体の販売による売上高は、前年同四半期は部品不足の解消により一時的に増加しましたが、商品出荷時期の偏りが正常化したことにより今年度は前年同四半期に比べ2億12百万円減収の11億76百万円となりました。

<受託開発>

大手SIerからの受託開発につきましては、前期に引き続き当社の得意領域にリソースを集中させ、また、受注条件の改善に努めるなど収益性の向上に取り組んでおります。引き続き当社の強みを活かさない領域からの撤退・縮小を進めており、受託開発の売上高は前年同四半期に比べ1億10百万円減収の31億72百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は177億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億20百万円減少いたしました。流動資産は149億99百万円となり、5億76百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加(5億89百万円)、受取手形、売掛金及び契約資産の減少(12億85百万円)等であります。固定資産は27億71百万円となり、2億43百万円減少いたしました。主な要因は、無形固定資産の増加(1億9百万円)、繰延税金資産の減少(3億78百万円)等であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は66億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億29百万円減少いたしました。流動負債は32億41百万円となり、12億66百万円減少いたしました。主な要因は、賞与引当金の減少(7億99百万円)、未払法人税等の減少(3億10百万円)、支払手形及び買掛金の減少(1億47百万円)等であります。固定負債は33億85百万円となり、62百万円減少いたしました。主な要因は、退職給付に係る負債の減少(39百万円)、リース債務の減少(22百万円)等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は111億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億9百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加(3億76百万円)、その他有価証券評価差額金の増加(74百万円)、退職給付に係る調整累計額の増加(31百万円)等であります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の57.2%から62.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2023年5月15日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,204,237	9,793,677
受取手形、売掛金及び契約資産	5,875,410	4,589,807
商品	286,571	264,002
仕掛品	24,686	39,672
その他	185,277	312,436
貸倒引当金	△30	△30
流動資産合計	15,576,153	14,999,565
固定資産		
有形固定資産	474,936	450,859
無形固定資産	431,192	540,205
投資その他の資産		
投資有価証券	912,211	997,072
繰延税金資産	587,612	209,481
差入保証金	470,506	459,513
その他	189,556	156,306
貸倒引当金	△50,931	△42,221
投資その他の資産合計	2,108,955	1,780,153
固定資産合計	3,015,084	2,771,218
資産合計	18,591,237	17,770,784

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	686,716	539,401
リース債務	42,046	31,321
未払金	1,101,395	1,132,504
未払法人税等	359,222	48,948
賞与引当金	1,404,655	605,250
役員賞与引当金	100,800	36,450
受注損失引当金	130,609	73,442
その他	683,403	774,641
流動負債合計	4,508,849	3,241,960
固定負債		
リース債務	60,075	37,312
退職給付に係る負債	3,365,972	3,326,022
長期未払金	21,970	21,970
固定負債合計	3,448,017	3,385,304
負債合計	7,956,866	6,627,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,775,100	3,775,100
資本剰余金	3,991,375	4,000,503
利益剰余金	3,865,584	4,242,267
自己株式	△844,675	△839,175
株主資本合計	10,787,385	11,178,695
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	309,341	383,800
為替換算調整勘定	27,593	39,439
退職給付に係る調整累計額	△489,949	△458,415
その他の包括利益累計額合計	△153,014	△35,175
純資産合計	10,634,370	11,143,519
負債純資産合計	18,591,237	17,770,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	14,361,277	13,722,853
売上原価	10,354,334	9,574,192
売上総利益	4,006,943	4,148,660
販売費及び一般管理費	2,912,907	2,922,856
営業利益	1,094,036	1,225,804
営業外収益		
受取利息及び配当金	24,062	27,395
未払配当金除斥益	5,715	11,526
貸倒引当金戻入額	-	8,700
その他	18,238	3,643
営業外収益合計	48,015	51,264
営業外費用		
支払利息	742	556
為替差損	12,687	4,214
その他	715	397
営業外費用合計	14,145	5,168
経常利益	1,127,906	1,271,900
特別利益		
投資有価証券売却益	-	6,993
特別利益合計	-	6,993
特別損失		
固定資産除却損	-	6,075
ゴルフ会員権売却損	-	2,394
特別損失合計	-	8,469
税金等調整前四半期純利益	1,127,906	1,270,424
法人税、住民税及び事業税	133,476	98,472
法人税等調整額	151,189	345,300
法人税等合計	284,666	443,772
四半期純利益	843,239	826,652
親会社株主に帰属する四半期純利益	843,239	826,652

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	843,239	826,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,888	74,458
為替換算調整勘定	16,834	11,845
退職給付に係る調整額	41,900	31,534
その他の包括利益合計	37,846	117,838
四半期包括利益	881,086	944,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	881,086	944,490
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。